

調達管理番号・案件名

25a00207_全世界(広域)技術協力等におけるジェンダー主流化調査分析業務(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))

質問と回答は以下のとおりです。

2025/6/9

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	1	第1章 入札の手続き 1. 競争に付する事項 (5)ランプサム(一括確定額請負)型契約	総合評価落札方式は、成果が明確で、業務量の目途が10人月未満の案件に適用されるものと理解しております。本案件の成果(ファイナルレポートへの記載事項)は、「対象案件でのジェンダー視点での取組案・指標案に係る提案内容等。クラスター事業戦略別添用の取りまとめ結果・好事例集、資金協力事業でのジェンダー主流化に係る改善提案等を含む」とされていますが、こういった点で、本案件を成果が明確な業務と判断されているか、ご教示いただけましたら幸いです。	業務内容の確度が高い小規模調査等について、10人月未満を目安として一般競争入札(総合評価落札方式)、10人月以上を目安としてQCBSを採用しています。本業務については、一般競争入札(総合評価落札方式)の目安人月を超過していますが、業務内容の確度が高く、技術提案を求める範囲が限定的であることから、一般競争入札(総合評価落札方式)を採用しています。
2	10	(1)調査の構成	「クラスター事業戦略に添付することを想定するジェンダー課題、取組案、指標案等のまとめ方・記載方法について技術提案書で提案してください」とありますが、これは該当する5つのクラスター事業戦略それぞれ個別にではなく、全体的なまとめ方および記載方法を提案するという理解でよろしいでしょうか。	全体的なまとめ方及び記載方法をご提案頂くことを主として頂ければと思います。更に、いくつかのクラスターでの例示を入れて頂けると分かり易いように考えます。
3	10	第2章 特記仕様書 第3条 調査実施の留意事項 (1)調査の構成	対象技術協力プロジェクトについて、プロジェクトサイトに行くために国内便を使用する可能性のある案件はありますでしょうか。	可能性はありますが現時点では詳細未定です。対象国内の移動において交通費(少額交通費を除く)が発生する場合は、変更契約を含めて対応を協議します。
4	10	第2章 特記仕様書 第3条 調査実施の留意事項 (1)調査の構成	コンポーネント2の介入対象候補に関し、「現時点では、運輸交通(鉄道を除く)・保健・教育分野から案件2件を想定。(各主管部との協議や先方政府の状況等により変更になる可能性がある。)」とのことですが、コンポーネント2の開始前までに貴機構にて介入対象案件が選定されるという理解でよろしかったでしょうか。	ご理解のとおりです。

5	11	(2)ジェンダー視点に立った調査・取組の検討プロセス	「ジェンダー・トランスフォーマティブ・アプローチの観点から、特に資金協力事業におけるジェンダー視点での取組にあたっての改善点(仮説)について技術提案書において提案ください」とありますが、当該設問について、『資金協力事業における同アプローチ導入に向けた課題(障壁)と、それに対する改善方策の提案』という理解でよろしいでしょうか。提案作成にあたっての方向性を確認させていただけますと幸いです。	ご理解のとおりです。
6	13	資金協力事業の協力準備調査段階の案件のジェンダー視点レビューの実施と追加取組の提案(現地業務)	資金協力事業の現地業務について、「協力準備調査の過程に追加的に社会・ジェンダー分析団員として参画する場合には」「協力準備調査に追加参加しない場合においても」とありますが、参加形態は何に基づいてどのように決定されるのか、ご教示ください。	介入対象案件の現地調査タイミング(本案件の契約期間内で適切なタイミングがあるか否か、また、本案件コンサルタントの方の他用務との兼ね合いでのご都合等)に基づき決定出来ればと考えています。
7	13	第3章 特記仕様書 第4条 調査の内容 (2)資金協力事業の協力準備調査段階の案件のジェンダー視点レビューの実施と追加取組の提案(現地業務)	コンポーネント2では、介入対象案件において、実施機関でのジェンダー平等と女性のエンパワメントを推進する取り組みを事業内容に反映することについて検討することとされていますが、介入対象案件側は、このような介入が行われることについて了承している前提という理解でよろしかったでしょうか。また、本案件のコンポーネント2での検討結果を、実施中の協力準備調査に追加的に反映する方法について、具体的な想定(介入対象案件の契約を変更し、本案件での検討結果を追加業務とする等)をご教示いただけましたら幸いです。	介入対象案件とするにあたり、介入対象案件側の了解を得た上で選定することを想定しています。検討結果の反映については協力準備調査のどの時期から参加するかによって方法は変わるものと考えており、可能な範囲で本体設計における反映を模索したいと考えております。
8	17	業務量の目途	本案件は全体の業務量が10.76人月と記載されております。 10人月以上の場合はQCBS方式にて入札を実施する旨、貴機構の下記ウェブページに記載されておりますが、本件が10人月を超えていながら一般競争入札(総合評価方式)で実施される理由をご教示ください。 https://www.jica.go.jp/about/announce/information/consultant/2023/20230829.html	質問番号1を参照ください。
9	22	第3章 技術提案書作成要領 3.経費積算に係る留意事項 (6)その他留意事項	資金協力事業に関する旅費(その他)を入札金額に含めるにあたり、渡航国は未定ではあるが、日当は「業務実施日数-2日」で算出することでよいでしょうか。	日当は業務従事日数、宿泊料は業務従事日数-2日として算出してください。

10	22	(6)その他留意事項	<p>トルコ、ヨルダンを除いて、JICA事務所がある都市での現地調査と考えて良いでしょうか。一方、トルコに関しては、全日程イスタンブールでの調査となっていますが、事務所のあるアンカラへ行く必要はありませんでしょうか。またヨルダンに関しても、全日程アカバでの調査となっていますが、事務所のあるアンマンへの立ち寄りが必要ありませんでしょうか。</p>	<p>トルコ、ヨルダン以外の案件においても、JICA事務所のある都市以外にも現地調査をする可能性があります(特にSHEPは北部ウガンダを対象としています)。また、ヨルダン、トルコいずれもJICA事務所のある都市へ立ち寄る可能性もあります。対象国内の移動において交通費(少額交通費を除く)が発生する場合は、変更契約を含めて対応を協議します。</p>
----	----	------------	---	---

以上